

S A 周辺開発の目的・事業コンセプト

Q なぜ今 S A 周辺開発を検討するのか？

A 「南相馬鹿島サービスエリア周辺開発基本計画」P 5【これまでの経緯等】をご覧ください。

Q 基本計画策定の目的は？

A セデッテかしまの優れた集客力を最大限に活かし、市内の地域活動や経済に波及させることによりまちを元気にするため、地域課題の解決に繋がる 3 つの事業コンセプトを設定し、共通認識の基にコンセプトを実現するための事業を進めるためです。S A 周辺開発が目的（ゴール）ではなく、セデッテかしまの優れた集客力を最大限に活かし、本市の課題解決を目指します。

Q どのような課題の解決を目指すのか？

A 平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故により市内人口は震災前と比較して 4 分の 1 以上減少（（H 23）71,561 人⇒（R 6）53,102 人）するとともに、高齢化率は 12.0 ポイント上昇（（H 23）25.9%⇒（R 6）37.9%）するなど、市の活力が大きく減少しています。また、本市とその周辺地域は、美しい自然や豊かな文化・伝統行事など多くの魅力を有していますが、『その価値を広く伝える情報発信や PR が十分でない』ことや『市民が自慢できる場所・行きたい場所・連れていきたい場所がないという声が多い』、更には、前述した人口減少や少子高齢化により『地域の担い手確保』といった課題の解決を目指します。

新たに整備する施設

Q この事業で何をするのか？

A 物販施設、飲食施設、宿泊・温浴施設、自然体験施設、野馬追伝承施設、花見山など事業コンセプトの実現に資する施設の整備を想定しており、既存施設であるセデッテかしまやスマートインターチェンジと連続した、拡張型の開発を考えています。

Q 旧鹿島町時代に「大規模な広域レクリエーション開発」を検討していたとのことだが、その内容は？

A 交流広場や文化交流施設、物産直販施設及び温泉休養施設からなる「コア施設」のほか、牧場や馬場、ポニー広場等からなる「健康公園」、観光果樹園や体験農園、種苗園等からなる「農業公園」を含む、全体面積 28.3 ha の開発計画でした。

事業費

Q S A 周辺開発に係る事業費は？

A 市で一旦整理した想定される開発内容における事業費は、初期投資で約 9 6 億円程度とシミュレーションしています。なお、内訳については、「南相馬鹿島サービスエリア周辺開発基本計画 1 2 .収支計画のシミュレーション (P 1 0 3)」をご覧ください。

利用者見込み

Q S A の利用者数はどの程度増えるのか？

A 従来の立地的な優位性にエリアとしての魅力を付加することにより、現状値の年間 1 5 0 万人から 2 5 0 万人に増加すると試算しています。なお、詳細な推計については、「南相馬鹿島サービスエリア周辺開発基本計画 6 . サービスエリア集客見込み (P 4 9 ~ P 5 0)」をご覧ください。

Q 駐車場は足りるのか？

A 今回の S A 周辺開発に伴う利用者数の増加に対応できる規模で、駐車場も整備する考えです。なお現在想定している台数については、概要版に記載のとおりです。

官民連携

Q 「 D B O 方式」とは何か？

A 官民連携手法の一つで、設計業務・施工業務・運営・維持管理業務を一括で発注する手法です。設計 (Design) 施工 (Build) 運営 (Operate) の頭文字を取って D B O 方式といいます。従来の公共事業では、これらの業務を分割して発注することが一般的ですが、一括発注することにより民間事業者の自由度が増し、ノウハウの最大化やコスト縮減、工期の短縮化などが期待されます。

スケジュール

Q 新施設はいつから運営開始なのか？

A 最短で 2 0 3 0 年 4 月を見込んでいます。詳細なスケジュールについては、「南相馬鹿島サービスエリア周辺開発基本計画 1 3 .スケジュール(P 1 0 8)」をご覧ください。

注意事項

この「南相馬鹿島サービスエリア周辺開発 Q & A 」は、皆様からのご意見・ご質問等に基づき適宜更新してまいります。